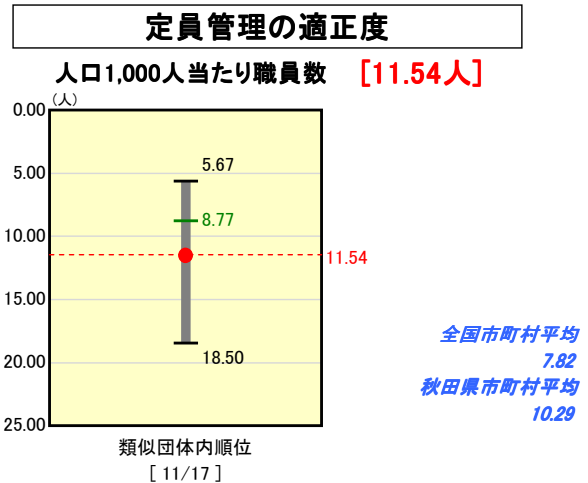
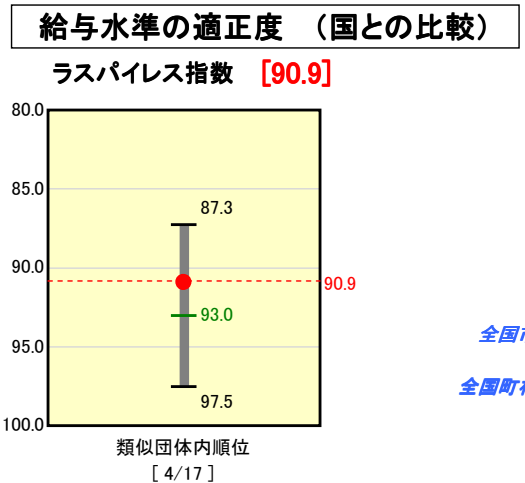
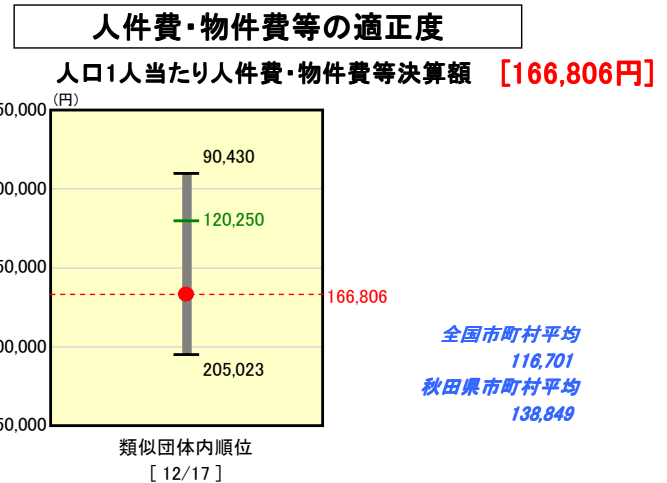
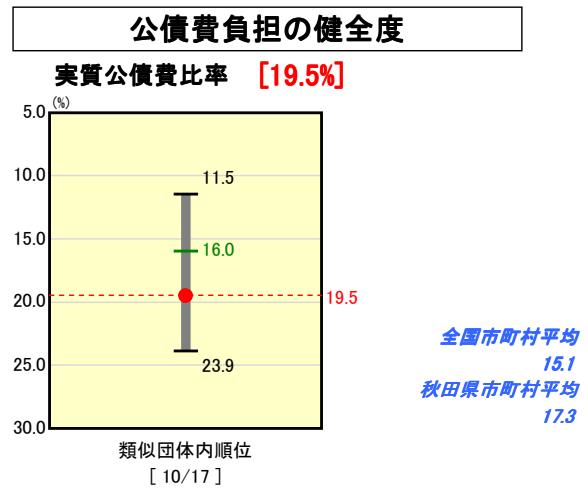
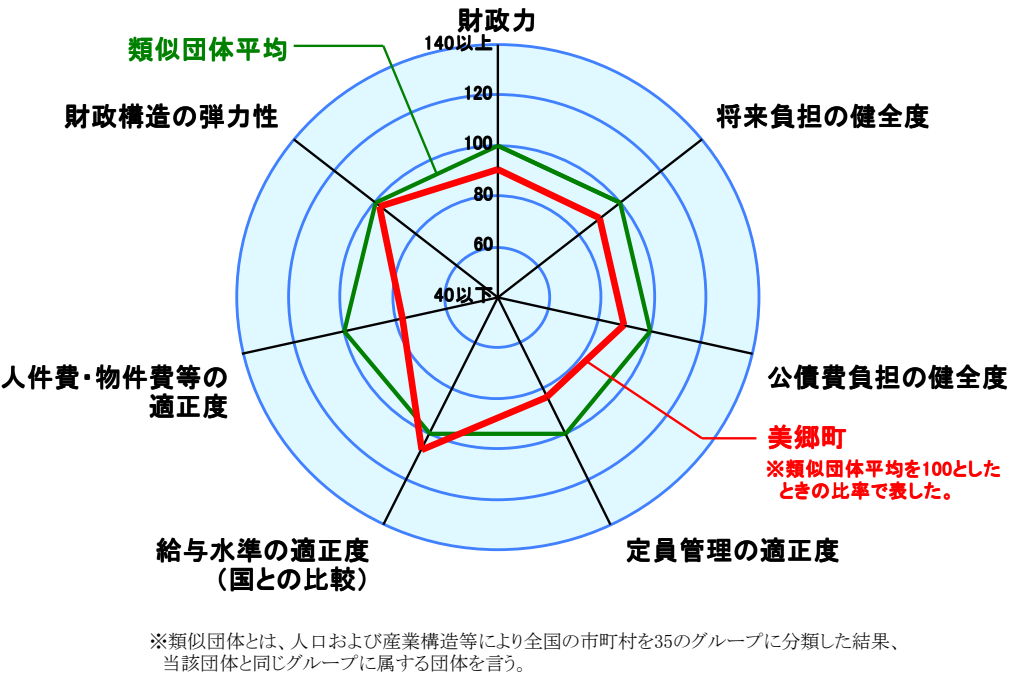
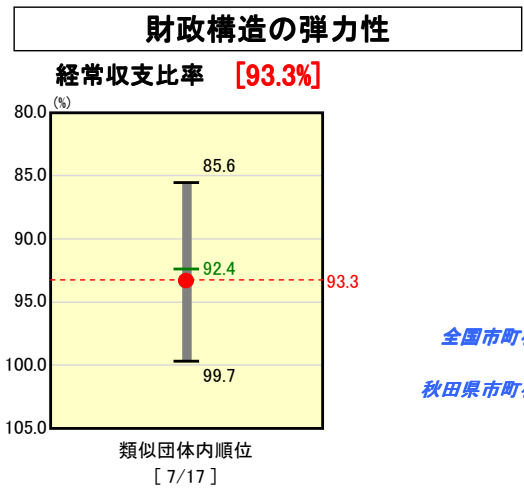
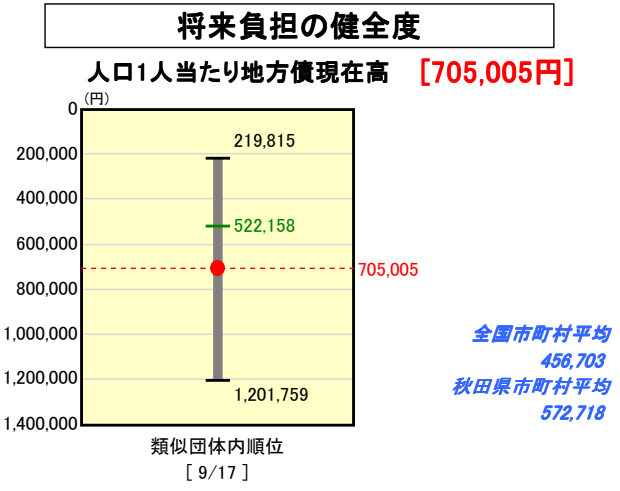
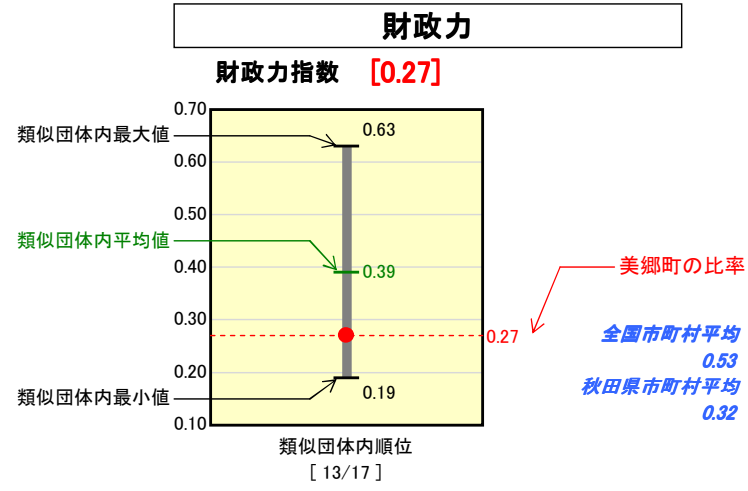


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

秋田県 美郷町

人口	23,307人	(H19.3.31現在)
面積	167.80	km ²
歳入総額	12,600,144	千円
歳出総額	11,913,259	千円
実質収支	668,356	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
基幹産業である農業を取り巻く状況の厳しさ、長引く景気の低迷による個人・法人関係の税収の伸び悩みから0.27と類似団体平均を大きく下回っている。今後は、「集中改革プラン」に基づき歳出の削減を図る一方、新設された滞納対策本部を中心に町税及び税外収入の徴収強化に努め、財政の健全化を図る。

【経常収支比率】
前年度に比べ2.8ポイント改善され93.3%となったが依然として類似団体平均を上回っている。特に合併後も旧町村で所有していた公共施設をそのまま管理運営してきたことなどにより物件費の比率が17.3%と類似団体平均を大きく上回ることから、統廃合を含めて公共施設のあり方の検討など、更に経常経費の削減に努める。

【ラスパイレズ指数】
類似団体平均93.0を下回る90.9となっている。

【人口1,000人当たり職員数】
類似団体平均8.77人を大きく上回る11.54人となり、これは町村合併によるものであるが、今後は、「集中改革プラン」に基づき退職者補充に係る新規採用を抑制し、平成24年度までに52名(18.4%)の職員の削減を図る。

【人口1人当たり地方債現在高】
類似団体平均522,158円を上回る705,005円となり、合併前に旧町村で実施した大型施設整備事業に係る町債の発行が大きな要因となっている。今後は、一会計年度の町債発行額を当該年度の償還元金の範囲内に納めるという内部の取り決めを遵守し、既発債の償還については、繰上償還が可能な局面には積極的に取り組み、公債費負担の解消に努める。

【実質公債費比率】
類似団体平均16.0を3.5ポイント上回っている。人口1人当たり地方債残高の分析欄の公債費のほか、公営企業に対する繰上償還の繰上金や公債費に準ずる債務負担に基づく支出が類似団体以上に多額であることが要因となっている。今後は、「公債費負担適正化計画」に基づき、公債費の抑制に努め、また、準公債費についても可能な限り繰上償還を行う。なお、公債費については、平成19年度をピークに縮小していき見通しとなっている。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
類似団体平均120,250円を大きく上回る166,806円となっている。物件費等については経常収支比率の分析欄にあるとおり公共施設の維持管理経費などによるものであり、人件費については、人口1,000人当たり職員数の分析欄のとおり職員数が多いことによる。